

2022年6月27日

各位

株式会社 北日本銀行

きたぎんグループ「サステナビリティ方針」および「環境方針」の策定並びに  
TCFD 提言への賛同表明について

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、気候変動を含むサステナビリティに関わる社会・地域課題解決に積極的に取り組むため、新たに「きたぎんグループサステナビリティ方針」および「環境方針」を策定するとともに、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明しましたので、お知らせいたします。

## 記

### 1. サステナビリティ方針

北日本銀行グループは、経営理念である「地域密着」「健全経営」「人間尊重」を実践し、持続的な地域社会の実現に向け、気候変動を含む環境・社会的問題に取り組み、地域・社会価値、経済価値の向上を図る持続可能な経営を目指してまいります。

- 持続的な地域経済の発展と豊かな地域社会の実現
- ダイバーシティの推進と自律型人財・エンゲージメントの共創
- 環境問題等への取り組み
- ガバナンスの高度化による健全経営の実践

### 2. 環境方針

北日本銀行グループは、環境に関連する法令等を遵守し、自らの企業活動における環境保全や環境配慮に努め、地域のお客さまとともに、持続的な地域社会の実現および発展に貢献してまいります。

#### <行動指針>

- 環境に関連する法令等を遵守し、環境に配慮した企業活動に取り組みます。
- 省エネルギー・省資源、不要文書のリサイクルを推進し、環境負荷の低減に努めます。
- 環境に配慮した商品・サービスの開発・提供を通じて、お客さまとともに環境保全に取り組みます。
- 気候変動に起因するリスクが北日本銀行グループの経営リスクとなることを認識し、気候変動に関するリスク管理体制を構築することで、リスク管理の高度化と情報開示の充実に努めます。
- 全役職員一人ひとりが、環境問題に関心を持ち、環境保全活動に積極的に取り組むための啓発活動を推進します。

### 3. TCFD 提言への賛同表明

近年、世界的な異常気象や大規模な自然災害による被害が甚大化するなど、気候変動が企業の事業環境や経営全般に大きな影響を及ぼしており、地球レベルでの対応が広がっております。

こうした状況の中、北日本銀行グループは、TCFD※（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同し、気候変動リスク・機会を踏まえた TCFD に沿った体制整備および情報開示の充実に努めてまいります。

※TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)とは

2015 年に金融安定理事会（FSB）の下に設置された金融システムの安定化を図る作業部会。異常気象等、気候変動の物理的影響や脱炭素経済への急激な移行等が、金融システムの安定を脅かす恐れがあるとして、すべての企業に対し、①複数の気候シナリオを用いて、②自社の気候関連リスク・機会を評価し、③経営戦略・リスク管理へ反映させ、④その財務上の影響を把握し、開示することを求めている。

### 4. 方針策定および賛同表明日

2022 年 6 月 27 日（月）

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

経営企画部（担当：篠村）

TEL：080-8603-1671